



ひよこぐみだより



NO. 5 平成 27 年 8 月 10 日 (月)

8 月になり、いよいよ夏本番です。暑い日が続いていますが子どもたちは、元気に日陰で水遊びをしたり、お部屋や廊下など探索活動を広げています。新しいお友だちが 2 名増え、ますますひよこぐみのお部屋がにぎやかになりました。一人ひとりの体調や育ちに合わせて暑い夏をゆったりと快適に過ごしていきたいと思っています。



たくさん

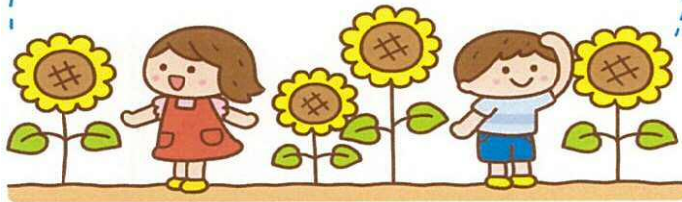
遊ぼうね

T. Aちゃん



H. Hくん

テラスにマットを敷き、大小様々なたらいに水を溜めて水遊びをしました。大はしゃぎで水をパシャパシャ手でたたく子どもたち、顔に水がかかってもへちゃらず。様々な水の感触を味わっていました。



お友だちっていいな

ある日のお食事前の出来事です。手拭用タオルで手を拭いていた R ちゃん。拭き終わると、隣に座っている S ちゃんの顔を覗き込んでタオルを手渡していました。“S ちゃんも拭くでしょ？”と言っているようでとても微笑ましい光景でした。まだまだ一人遊びが多い子どもたちですが、気がつくとなんとか集まって遊んでいることがあります。顔を見合わせて笑ったり、机につかまり立ちをして、いないいないばあをしたりと、そこに言葉はありませんが、それぞれのやりとりがある様に見える瞬間があり、見ている私たち保育士も心が温まります。これからも子ども同士可愛い関わりを見守っていききたいと思います。

ひよこぐみ担任 福岡、中村(亜)、山田

すみれぐみだより
第5号

平成 27 年 8 月 10 日(月)

お返事「は〜い」

お集まりでお名前を呼んでいます。以前は保育士の顔を見るだけだった子どもたちが手を挙げながら『は〜い』と返事ができるようになりました。また「あなたのお名前は」の歌に合わせて遊ぶと、『しんくんです』や『ゆうちゃん』などと自分の名前を言えるようになった子どもたちも増えました。みんなの中で自分を主張し、表現力が育っています。



野菜スタンプで遊んだよ

園庭に出ると子どもたちは畝に一番に行き年長児が植えた夏野菜を見えています。野菜ができていると『あっ!』や『トマト!』と目を輝かせて保育士に知らせてくれます。その子どもたちの興味を遊びに取り入れ野菜スタンプをしました。『これなーに?』と野菜の名前を保育士に聞いたり、『ピーマンがいい』と自分で選んだり興味津々でした。かわいいT シャツができましたよ。

水遊びをしたよ

タライに水を入れ水遊びをしています。水遊びが好きな子どもたちは、テラスに行くときすぐに足や手をタライに入れ水に触っています。水に浮く魚の玩具を見つけ『これがいい』と選びタライまで運んで遊んでいました。水を怖がることなく水遊びを喜んでいますよ。



「おめんです」

「おめんをかぶっているのだあれ」という絵本を読むと『ぶたさん』や『かえるさん』などと答えるようになりました。最後のおめんのページでは『これがいい』と自分の好きなおめんを一人ひとり指差し選んでいます。

担任 今丸、唐木、草場



H27. 8. 10 (月)

「 水あそび 」

梅雨が明け、暑い日が続いています。ちゅうりっぷ組では、2階のテラスにタライやビニールプールを出して水遊びをしています。子どもたちは、水遊びが大好きで「今日、お水入る?」「プールする日?」と毎朝、聞いてくる子どももいます。プールに入ると「気持ちいいね〜。」「冷た〜い。」と言いながら、ペットボトルやアイスのカップで水をかけ合っています。保育士がシャワーで水をまくと、「こっちにもかけて〜。」と誘い声をあげながら水遊びを楽しんでいます。

「泥んこ遊び」

泥遊びをしました。初めは“本当に汚れていいかしら?”と心配そうな表情の子どもたちでした。しかし、次第に泥の気持ちよさを感じたようです。最後は砂山の上から水たまりへジャンプ!!水しぶきならぬ、泥しぶき(?)が顔や服にかかっていましたが、楽しそうな子どもたちは開放感のよこびに溢れているようでした。



「 絵本の紹介
きいろいのはちょうちょ 」

男の子がちょうちょをつかまえようとしています。しかし、それはちょうちょではなく、ひよこや花、オムライスだったりします。ページをめくるたび、子どもたちは「違ったねえ」「オムライスやったねえ」などと話しています。最後にちょうちょが出てくると「ちょうちょ、やったねえ」「あ〜あ、ちょうちょやったのにねえ。(男の子)ちょうちょじゃないって言って、どっか行ったよ!!」と子どもたちが話しているのを聞くと、面白いなあと思います。



「 スプーン 」

子どもたちは食事のときにスプーンとフォークを使って食べることができるようになりました。スプーンを写真のように三本の指で握っている子どもに「上手に持っているね。」と言葉をかけると他の子どもたちが「ねえねえ、どうやって持つん?」「(どうやって握るか)して〜。」「(スプーンを握って見せ)こう?」という声が聞かれました。お友だちの力は、すごいですね。3歳児クラスになるまでに箸をつかって食べることができるよう、子どもたちに持ち方に合わせながら進めていきたいと思っています。スプーンを正しく持つことができるようにという保育士の思いが子どもたちの気持ちを重くしないように、食事の時間は楽しい雰囲気大切にしたいです。



☆第5号☆



平成27年8月10日（月）

真夏の太陽にも負けず、水あそびや泥あそびなど夏ならではのあそびを満喫し、元気いっぱいの子どもたち。パワー全開の子どもたちには、「〇〇くんがたたいた」「玩具をかしてくれない」などのトラブルも…。少しずつですが自分の思いを、自分なりの言葉で伝えることが出来るようになってきています。お互いに主張したり、相手の気持ちに気付いて時には我慢したりしながら、認め合う気持ちが育つよう、子どもたちのパワーに負けずサポートしていきたいと思っています。



夏だよ♪プールだよ♪

プール開きを終え、まちにまったプールあそびが始まりました！
「先生、いつプールする？」「こすもすさんになったけお外にある大きいプールよね？」と楽しみにしていた子どもたち。初めてのプールの日には、朝登園してくると「先生！プールカードちゃんとペンギンさんの中に入れたよ！」「〇も書いてもらった！」とウキウキした表情で、友だちと水着を見せ合ったりしていました。



どろどろだぞ～！

泥あそびをしたときのことで。初めは服に泥がつくことを気にしながら、ペットボトルやバケツに砂を入れ、「先生、ケーキが出来たよ」「泥ジュースができた」とあそんでいた子どもたちでしたが、あそびに夢中になると、手や足で触るだけでなく泥の上に座ってみたりし「ここプリンみたいにプルプル」「この泥はあったかいね。こっちは冷たいよ。」「見て！どろどろ～！」と全身泥だらけになりながら泥の感触を味わっていました。

僕たちもたんぼぼさん！

毎朝、たんぼぼぐみのお当番のお友だちが出席人数を聞きに来ています。そんなお兄ちゃんお姉ちゃんの姿を見て「たんぼぼさんいつもすごいね！」「こすもすさんもたんぼぼさんみたいになれる？」と目をキラキラさせている子どもたち。今では、保育園ごっこの中で保育士やたんぼぼさんになり、「こすもすさん何人ですか？」「〇人です」「ありがとうございます」と朝のやり取りを真似してあそんでいます。異年齢での関わりを通して、お互いに刺激し合い様々な面での成長が見られるようになりました。



H27.8.10(月) 発行

8月に入り気温が30℃を超える日が続く毎日です。ジリジリとした太陽の日差しが肌をさし、外に出るとフライパンの上にいるように感じます。

そんな熱い中でもセミの声が近くに聞こえると、「あっ！木にセミがとまっているよ。見に行こう」と外に走って出ます。さくらの木を囲んで子どもたちは木を指さし「ほら、あそこにセミがおるよ」「木の汁を飲みよるんやない？」と話しています。セミを観察する子どもたちの顔は木々の合間からさす太陽の光に照らされて、まるで太陽の子どもたちのようです。



「おわかれ」

7月24日にひまわり組のあいかちゃんのお別れ会をしました。

子どもたちは「どこに行くの？」「もう来ないの？」と、あいかちゃんのお別れにまだ実感がわかないようです。

会の始めにあいかちゃんから「明日から遠くに行きます。さようなら」と挨拶をしてくれました。すると、「一緒に遊ぼう」「手つなごう」とあいかちゃんの周りに子どもたちが集まってきました。園庭に出ると好きだったすべり台の遊具にみんなが集まっていたので「写真撮ってもいい？」と



声をかけると、子どもたちはあいかちゃんを真ん中にして並んでいました。友だちとの別れを惜しむ子どもたちの間にあたたかい友情の絆が結ばれ、将来の思い出の一コマとなる尊い場面でした。私の心の中に「ありがとう」の言葉とソーダ水のような爽やかな思いでいっぱいになりました。

夏だよ！プールだよ！

プールの日は、朝から「何時になったらプールに入る？」と聞きに来ます。保育士も水着姿になっているので、子どもたちはすでにプールの中です。

太陽に照らされて輝く水に入ると「気持ちいい」「ひゃー冷たい」と歓声が聞こえます。プールを入っている時だけは、セミの声も聞こえないくらいに子どもたちの歓声が園庭に響いています。プールを楽しむ子どもたちを見守るようにトンボもたくさん遊びにきて、一緒に水遊びを楽しんでいました。



ひまわり組担任：河内・井上



H27. 8. 10 (月) 発行

「野菜たち大丈夫かな・・・。」

7月の下旬に台風11号が北九州に来ると予測された日の事です。
「また台風がくるね。保育園大丈夫かな・・・。」と心配をしていました。
すると子ども達は「保育園は大丈夫だよ。丈夫だから。」でも「トマトとか野菜たちは台風が来たら飛ばされるかも。一番スイカの赤ちゃんが危ないね。風が来ない所に入れてあげよ！」と遊戯室で守ることにしました。
そんな守られたスイカは直径8cmほども大きさに成長しました。みんなで一生懸命育てたスイカを6日にいただきました。

こんな
赤ちゃんでも
スイカの
味がする！



大きく育ってくれて
ありがとう！！



プールは気持ちがいいな！！

夏の楽しみの一つでもあるプール遊びが始まり、園庭は子ども達の声でにぎわっています。
ワニになって泳いだり、いろいろな形のおもちゃを水底に沈め、水面に顔を近づけたり潜ったりおもちゃを探して遊んでいます。11日がプール遊びの最終日ですが引き続き泥遊びは行っていきたいと思っています。水着や着替えの準備が大変とは思いますがよろしくお願致します。



「どっちが高いかな??」

夏の暑さに負けず園庭のひまわりは元気いっぱいに育ちました。

ひまわりがすくすくと育ち「僕の身長とどっちが高いかな？」と背比べしました。「まだ、僕が高い！！頑張って大きくなるんだよ！」と話しかけていました。

いつの間にか、ひまわりの背は高くなりました。子ども達は「たくさんのお日さまの栄養をもらって大きく育ったんだね！僕負けちゃった。でも今から大きくなるからね。負けないよ～」と話しかけていました。

自分のことだけでなく、育ててきたひまわりの成長も見守り喜ぶことができる子ども達は素敵だと思いました。